

# 倉庫用コンテナ購入仕様書

## 1 目的

本仕様書は、新島村が購入するコンテナについて、必要な事項を定める。

## 2 納入場所及び数量

納入場所	住所	数量
新島黒根港(港止め)	新島村字黒根	1個
式根島野伏港(港止め)	新島村式根島918番地	1個

## 3 納入期限

令和5年1月20日(金)

## 4 コンテナ本仕様書(基本条件)

### (1) 総則

本コンテナは、側面(長辺側)に観音開き式の開戸を有したコンテナとする。  
なお、倉庫に使用するコンテナは新造品とし、中古品を使用しないこととする。

### (2) 基本構造

ア 下面四隅に隅金具を設け、トラック又はトレーラに積載、固縛して輸送できる構造であること。また、地上とアンカーにより緊結できること。

イ 荷役用フォークポケットを有し、フォークリフトでの移動ができる構造であること。

ウ クレーンを用いた上部吊り移動ができるように、上面四隅に隅金具を設けること(吊り角60度以内)。

エ 内部(側面及び床面)に内張板を設けること。

オ 片側(長辺側)に、施錠可能な観音開きの開戸を設けること。

カ 倉庫の妻壁面に、通気口を2ヶ所(片側1ヶ所)を設けること。

キ 倉庫内部に、表1に示すスチール製の棚を設けること。

表1 スチール棚寸法等(基準)

部品名	材料名・規格	記事
スチール棚	市販品	サイズ(mm)(基準) 妻側:H約1,800×W約1,200×D約600×2基 奥側:H約1,800×W約1,800×D約600×2基 (棚の寸法、構造等は、倉庫本体の内法寸法に合わせるものとする。) 段数:5段 均等耐荷重:約500Kg(棚1基あたり) (棚板1段あたり約120kg)

## 5 コンテナ本体仕様(細部仕様)

### (1) 寸法

コンテナ本体の寸法は、表2を基準とし、「JRSコンテナ」又は「海上コンテナ」に適合すること。

表2 コンテナ本体の寸法(基準)

	高さ(m)	幅(m)	長さ(m)
外法寸法	約2.5	約2.4	約3.7
内法寸法	約2.2	約2.2	約3.6
外入口開口寸法	約2.2	約3.6	

### (2) 重量等

コンテナ本体の重量等は、表3を基準とし、「JRSコンテナ」又は「海上コンテナ」に適合すること。

表3 コンテナ本体の重量等(基準)

	重量(kg)
自重	約1,700
最大積載重量(耐荷重)	約5,000
最大総重量	約6,700

### (3) 材料

ア 本コンテナに使用する材料は、全てJIS・JAS又はこれに相当する材料に基づくものであること。

イ ネジ、ボルト、ナット等については、JIS規格品とすること。

ウ 主要材料については、「JRSコンテナ」又は「海上コンテナ」に適合すること。

## 6 工作

「JRSコンテナ」又は「海上コンテナ」に準じて工作すること。

## 7 構造

### (1) 一般

ア 床構造の最下部は、コンテナの最大積載重量に等しい荷重を床に等分布に積み込み、最も大きく撓んだ時でも、脚又は下部金具より下方に出ない構造とする。

イ 本コンテナは、片側に観音開き式の開戸を設け、側面及び開戸の内側に内張板(ラワン合板)を取り付けること。

ウ 屋根外板の材質は、高耐候性鋼板とし、一体成形のコルゲート形状のものとする。

エ スチール棚は、別紙1「スチール棚配置図(基準)」に示す位置にネジまたはリベット固定すること。

(2) 床

- ア プレス加工された側下部枠、床梁及び妻下梁を溶接して取り付けること。
- イ 床の四隅には、下部隅金具を取り付けること。
- ウ 床板は、アピトン合板(板厚15mm(基準))を床梁にネジ止めするものとする。  
なお、ネジは亜鉛メッキを施したものとし、ネジの頭部は床板表面に突出しないようにすること。
- エ 床表面には、ウレタン樹脂塗装を施すこと。
- オ 床下には、荷役用にフォーク差込用空間(フォークポケット)を設けること。

(3) 妻側

- ア 妻側は、コルゲート加工された外板を、上下梁及び柱に溶接で取り付けること。
- イ コンテナ内部には内張板をリベットで取り付けること。
- ウ 妻側には、通気口を取り付けること。
- エ 妻側には、開戸を開けた状態で固定できる掛金具を掛けられる金具を取り付けること。

(4) 側開戸

- ア 側面(長辺側)一面に設けること。
- イ 外板とプレス加工された骨組みを溶接にて組み立てること。
- ウ 開戸の室内面には、内張板をリベットで取り付けること。
- エ 開戸の周囲には、特殊塩化ビニール製の二重防水ゴムを取り付け、防水すること。
- オ 開戸は、約260度回転するようにし、開戸を開けた状態で固定できる掛金具を取り付けること。

(5) 側壁

- ア 開戸の反対側については、開閉できず密閉された構造とする。
- イ 側壁の室内面には内張板をリベットで取り付けること。

(6) 屋根

- ア 屋根板は、プレス加工された外板を倉庫上部の周囲枠に溶接して取り付けるものとする。
- イ 屋根板には、雨水の排水を容易にするため傾斜を設けること。

(7) 開閉装置

- ア 開閉装置は、保守のため外部より交換できるカム式とし、1開戸あたり1装置取り付けること。
- イ 開閉用ハンドルは、南京錠で施錠できる構造の物とする。なお、施錠は、右開戸の開閉ハンドル部とすること。

(8) ヒンジ

ヒンジはプレス加工品とし、1開戸あたり2組以上取り付けること。

(9) 下面隅金具

ア 床の四隅に溶接して取り付けものとする。

イ 金具をもってコンクリート台座の上に設置できるものとする。

8 塗装・表記及び表示

(1) 塗装

ア コンテナ外側の塗装は、表4により行うこと。

表4 外側塗装表

No.	工程	塗料	備考
1	素地調整		骨組み組立後、溶接スパッターを完全に除去し、溶接部は、ショットブラストを実施すること。
2	下塗塗装	フタル酸樹脂系錆止め塗料	
3	上塗塗装	指定色:クリーム色 フタル酸樹脂系上塗塗料	

イ 倉庫外側の床下の塗装は、表4の1、2の行程後、表5により行うこと。

表5 外側床下塗装表

No.	工程	塗料	備考
1	アンダーシール	瀝青系塗料 #6050NA	同等品可

ウ 倉庫内部の塗装については、内張板に隠れる部分は表4の1、2により行うこと。また、内張板から見える部分は、表4の1から3まで行うこと。

エ 倉庫天井内面の塗装は、表6により行うこと。

表6 天井内面塗装表

No.	工程	塗料	備考
1	素地調整		骨組み組立後、溶接スパッターを完全に除去し、溶接部は、ショットブラストを実施すること。
2	下塗塗装	フタル酸樹脂系錆止め塗料	
3	上塗塗装	合成樹脂エマルジョン系断熱塗料	

## 9 検査

倉庫完成後、検査を実施すること。なお、検査の種類は次のとおりとする。

- (1) 外観検査
- (2) 寸法検査
- (3) 防水検査

## 10 品質証明

納入時に、製品の品質を証明する書類を提出すること。